

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門基礎科目	150	2年	後期	臨床検査学科	選択	カウンセリング入門（共通） Introduction to Counseling	15	1
担当教員								
石丸 雅貴*								
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
○	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
本授業の目的は以下の2点である。 ①相談者が自らの解決を見つけ出していくように導く対話法（以下、SFA）の基本的な考え方を学ぶこと。 ②グループワークを通して、SFAを用いたコミュニケーション方法を身につけること。								
到達目標（授業目標）								
本授業の目標は以下の3点である。 ①SFAの基本的な考え方を理解できる。 ②SFAを用いたコミュニケーション方法を身につけることができる。 ③他者から相談を受けたとき、SFAのコミュニケーション方法を活用しようと試みる事ができる。								
回	授業計画（項目・内容与方法・担当者）							
1回	SFAの全体像：①授業の概要や進め方などを理解する。②SFA面接DVDを視聴し、大まかな全体像を把握する。③小レポート課題を提示する。							
2回	リソース（資源・資質・能力）：①リソースの探し方を理解する。②リソースを2種類（内的リソース・外的リソース）に分類して捉える。③リソースの生かし方を考える。							

備考						